

教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

上富田町立朝来小学校
教諭 松 場 浩 一

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み、教員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012, 小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

修養では、学級経営や、授業改善、教育相談、教育法規等に関する講義・演習を通し、幅広い知識を得ることができた。また、本県の教育行政や他府県の取組について知るなど、教員として視野を広げることができた。特に、児童が充実した学校生活を送るためには教科指導の果たす役割が大きいことを認識するようになり、これまで以上に教育公務員としての責務を強く自覚し、職責の遂行にいつそう努めなければならないと考えるようになった。

研究では、これまでの振り返りから、「数学的な考え方」を働かせること、日常生活や社会の事象を数理的に捉えることに課題があると考え、授業改善の方向性を模索し、その具体化を図った。研究を通し、継続した自身の授業の省察と改善の繰り返しが、実践力の向上につながっていくのだと実感するとともに、表現する力を育むという新たな課題も明らかになった。今後は、研究で学んだことを所属校等へ還元していきたい。

この1年間、教員研修が多くの方々を支えられながら成立していることを実感した。恵まれた環境の中で、9名の仲間と共に、研修に集中することができたことに対して感謝の思いは尽きない。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間をとおして行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

| 段階 | 第1段階 基礎期 | 第2段階 向上期 | 第3段階 探究期 | 第4段階 充実期 | 第5段階 修了期 |
|----|--|-----------------------------------|-------------------------------------|--|--------------|
| 月 | 4月～5月 | 6月～8月 | 9月～11月 | 12月～1月 | 2月～3月 |
| 研究 | ・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表 | ・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等の作成、模擬の授業実施 | ・授業・研修研究計画を立て、第2回報告会で発表 ・授業研究の実施 | ・授業研究で収集したデータ分析 ・教育センター学びの丘研究報告会で発表 | ・研究報告書、資料の作成 |
| 研修 | 所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」 | | | | |
| 養 | <ul style="list-style-type: none"> ■「授業力」「組織開発力」「研修力(学び続ける力)」向上トレーニング ■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講 ■初任者研修、10年経験者研修等聴講 ■学びの丘指導主事等による研修員研修 | | | | |

図 研修の概要